

付属資料

【実感評価】

# 学校評価調査報告書

～ 学校評価への共通評価項目の設定と全県集計結果の概要～

平成 18年 9月 7日

高知県教育委員会事務局

## 目 次

全体の概要	1 P
各校種別まとめ	5 P
全県集計表	23 P
学校評価への共通評価項目の設定について	47 P
(参考) 文部科学省調査結果	55 P

## 全体の概要

趣 旨	教育改革の取組の結果として、学校がどの程度活性化しているかについて、各学校で実施している学校評価の中に、全県共通の評価項目を設定し、その結果を全県で集計することによって把握する。
実施時期	平成17年度(9月以降に各校で実施)
対 象	幼稚園、公立小学校、公立中学校、公立高等学校、公立盲・聾・養護学校の児童・生徒、教職員、保護者、開かれた学校づくり推進委員会の地域代表 児童・生徒については小学4年生以上 養護学校の児童生徒については障害の程度によって可能な範囲 保護者については、児童生徒ごとに回答を求めた 県立3中学校の教職員は、中学と高校に重複回答となっている 今回の集計結果の各設問ごとの回答の%は、それぞれ回収数に対する%になっているために、設問によっては無回答や二重回答があり、設問ごとの%の合計が100%にはなっていない。

(単位:人)

校 種	区分	対象数	回収数	回収率
公私立幼稚園 (公立は全園実施、私立は32園中17園で実施)	保護者	3,042	2,471	81.2%
	教職員	279	272	97.5%
	地域住民	242	221	91.3%
公立小学校	児童	22,247	21,814	98.1%
	保護者	36,374	29,496	81.1%
	教職員	3,958	3,738	94.4%
	地域住民	3,457	2,578	74.6%
公立中学校	生徒	17,816	16,711	93.8%
	保護者	16,374	12,007	73.3%
	教職員	2,389	2,187	91.5%
	地域住民	1,590	1,228	77.2%
公立高等学校	生徒	16,576	15,464	93.3%
	保護者	15,773	10,366	65.7%
	教職員	2,130	1,865	87.6%
	地域住民	1,833	1,217	66.4%
公立盲・聾・養護学校	児童生徒	195	185	94.9%
	保護者	631	412	65.3%
	教職員	653	514	78.7%
	地域住民	131	97	74.0%
合計	児童生徒	56,834	54,174	95.3%
	保護者	72,194	54,752	75.8%
	教職員	9,409	8,576	91.1%
	地域住民	7,253	5,341	73.6%

## 結果と分析の概要

### (1) 学校への満足度」

学校への満足度の肯定的評価	高知県	全 国
小学校保護者	91.6%	74.1%
中学校保護者	82.7%	61.1%
高等学校保護者	80.0%	
学校の楽しさの肯定的評価	高知県	全 国
小学校児童	84.5%	78.9%
中学校生徒	78.8%	75.0%
高等学校生徒	71.3%	

全国は、「平成17年文部科学省 義務教育に関する意識調査」

幼稚園については保護者、地域とも肯定的評価が95%以上で、満足度が高い。  
 ・児童生徒と保護者の学校への満足度は高く、前回と比較して単純に比較できないとしても改善している。(盲・聾・養護学校児童生徒は前回との比較はできない。)  
 全国との比較においては、全国での小学校保護者と児童の「学校への満足度」に対する肯定的評価に対して、本県での保護者と児童の肯定的評価は、保護者の満足度は本県が大きく上回り、児童についても6ポイント上回っている。中学校についても、全国での保護者と生徒の肯定的評価に対して、小学校と同様に保護者の満足度は本県が大きく上回り、生徒については38ポイント上回っている。

分かる授業」に対する肯定的な評価	高知県	全 国
小学生	86.1%	69.6%
中学生	68.9%	51.8%
高校生	59.9%	32.2%

全国は、「文部科学省平成15年度実施 学校教育に関する意識調査」  
 (小学生は3年と5年、中学は2年、高校は1年を対象)

・「分かる授業」に対する児童・生徒の評価は、肯定的回答が全国と比較して、高い結果が出ている。

分かる授業」に対する肯定的な評価	児童生徒	保護者	教 職 員
公立小学校	86.1%	91.2%	95.8%
公立中学校	68.9%	72.4%	94.0%
公立高等学校	59.9%	72.0%	95.8%

小、中、高等学校における「分かる授業」に対する評価について、教員の評価と中学校と高等学校の生徒・保護者の肯定的評価とには隔たりがあり、一層の授業改善が求められる。

### (2) 子どもの元気度」

	小学生	中学生	高校生
「あなたは自分の学級が楽しいですか」という設問に対する肯定的回答	85.1%	75.7%	72.5%
「あなたは目標を持って学校生活を送っていますか」という設問に対する肯定的回答		61.0%	60.1%
「あなたは悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか」という設問に対する肯定的回答	52.9%	34.5%	30.0%

- ・「悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できるか」という設問に対する児童生徒の肯定的回答は小中高等学校と校種が上がっていくにつれて低下し、否定的回答が増加している。教員のカウンセリングマインドが一層求められる。

### (3) 「学校の開かれ度」

#### 【公立小学校】

対象	年度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか	78.6%	21.3%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	85.3%	13.6%

#### 【公立中学校】

対象	年度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか	73.6%	26.4%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	69.4%	25.5%

#### 【公立高等学校】

対象	年度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	54.7%	45.3%
	H17	学校は子どもたちや保護者の・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	61.4%	33.6%

#### 【公立盲・聾・養護学校】

対象	年度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は保護者の意見(子どもたちの意見や希望)を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。	59.1%	40.9%
	H17	学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。	76.7%	14.4%
	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか。	60.0%	40.0%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか。	88.4%	6.8%

小学校、高等学校、盲聾養護学校では前回の調査の結果と比較しても肯定的回答が増加し、否定的評価は減少しており、開かれた学校づくりが進んできたことがうかがわれる。中学校については、肯定的評価、否定的評価ともに大きな変化は見られず、情報提供や保護者の声を学校経営に反映することについて課題がある。

### (4) 「学校教育への期待」

- ・児童生徒の学校への期待については、平成13年度調査と同様にどの校種でも「わかりやすい授業」と「行事・部活動の充実」についての回答が目立つ。小学校では「いじめや暴力をなくす」と「安全対策」に対して、それぞれ約半数の児童が回答して1位、2位となっていることから、安全な環境の確保に高い関心を示しているものと考えられる。

(註) 今回の集計結果と平成13年度調査との比較

・平成13年度の「第1期土佐の教育改革の検証と総括」の際にも、児童生徒・保護者対象アンケート(H13年度実施)、校長・教員対象アンケート結果(H10年度、H12年度実施)を資料としてしているが、悉皆調査ではなく、地域住民は対象になっていない。  
・校長・教員アンケートには、今回の教職員対象の設問と一致している項目は無い。  
・児童生徒、保護者対象アンケートも今回と完全に一致した設問ではなく、また回答の選択肢も異なっているために、回答の選択肢が前回5つであったものを、「どちらでもない」との回答を除き、4つの選択肢にしたうえで再計算して、肯定的評価と否定的評価に分けて今回の集計結果と比較するなど、統計的に操作した上で、内容的に比較できる設問の結果を今回の評価項目の集計結果と比較して、その傾向を参考までに示している。

平成13年度調査の回答者数

保護者・・・小学校 4,722名 中学校5,291名 高等学校219名 盲聾養護学校60名)  
児童生徒・・・小学校10,068名 中学校9,693名 高校1,105名)

## 各校種別まとめ

### 学校評価における共通評価項目全県集計結果(公・私立幼稚園)の概要

#### 1. 調査対象と回収の概要

(単位:人)

	区分	対象数
公私立幼稚園 (公立は全園実施、私立は32園 中17園で実施)	保護者	3,042
	教職員	279
	地域住民	221

#### 2. 結果の概要

##### (1)園への満足度

設問に対する回答	保護者	教職員	地域
「園に満足している」に対して肯定的回答	95.3%	96.0%	98.2%
「保護者は教職員に悩みを相談している」に対して肯定的回答	89.9%	77.2%	
「一人一人に応じた保育実践」に対して、肯定的回答	88.2%		
「意欲を持って教育活動に当たっている」に対して肯定的回答			102.7%

・保護者・園・地域とも園への満足度は、「そう思う」やや「そう思う」を合わせて95%以上と、肯定的な評価をし、園への満足度は高いと思われる。

・9割近くの保護者が、「教職員に悩みを相談している」と応えているのに対し、教職員は保護者と比べると1割ほど少なくなっている。保護者が悩みや困ったことを教職員に相談しているつもりでも、教職員は相談と受け止めていないことがあるかもしれないと思われる。

一人一人に応じた保育実践の取組は、「そう思う」やや「そう思う」が9割を割っている。子どもの育ちを大切にする保育実践が十分でないと感じている教職員が1割近くいることがわかる。

・地域住民は「教職員が意欲的に教育活動に当たっている」と、教育活動への取組を大変高く評価している。

「地域」の回答に重複回答があり、100%を超えている。

##### (2)子どもの元気度

設問に対する回答	保護者	教職員	地域
「元気に園生活をしている」に対して肯定的回答	96.9%	95.2%	103.7%
「お子さんは悩みを先生に相談している」に対して肯定的回答	81.6%	92.3%	

・保護者、教職員、地域とも「元気に園生活を楽しんでいる」と、肯定的な評価をし、園への満足度は高いと思われる。子どもたちが幼稚園を楽しみにしていることが推察される。

・悩みや困ったことについて、気軽に先生に相談していると応えた教職員が9割を超し

ているのに対し、17%の保護者が「あまり思わない」「思わない」と応えている。教職員と保護者の間に意識のずれがある。

「地域」の回答に重複回答があり、100%を超えている。

### (3)園の開かれ度

設問に対する回答	保護者	教職員	地域
「情報提供を積極的に行っている」に対して肯定的回答	90.2%	91.9%	
「園や子どもの課題をオープンにし、保護者や地域と協力して解決している」に対して、肯定的回答	86.5%	68.4%	93.7%

家庭への情報提供については、保護者・教職員とも約9割ほどが「そう思う」「ややそう思う」と肯定的である。開られた園づくりへの取組がされていると思われる。

園の開かれ度は、地域・保護者とも高いが、教職員の3割近くが「あまり思わない」「思わない」と応えている。教職員は課題解決に向けて、もっと開かなければならないという意識があると思われる。

### (4)園への期待

保護者の希望が多いのは、「安全対策」、「幼児期にふさわしい環境の充実」、「一人一人に応じた保育実践」についてである。

教職員の希望が多いのは、「幼児期にふさわしい環境の充実」、「一人一人に応じた保育実践」、「安全対策」についてである。

地域の希望が多いのは、「幼児期にふさわしい遊びの環境」「地域や家庭との連携」「道徳性の芽生えを培う教育や人権教育」についてである。

#### (総括)

保護者・教職員とも、これから最も力を入れたいことは上位3位同じ項目となっている。

保護者がこれから最も力を入れて欲しいことは「安全対策」を挙げている。現在の社会状況から、子どもの安全に対する関心が高いことが推察され、保護者にとって期待度が高いことがわかる。

「幼児期にふさわしい環境の充実」と「一人一人に応じた保育実践」は、幼児教育の基本にかかわる事項であることから、保護者の幼児教育に対する理解が得られているのではないと思われる。

地域は「幼児期にふさわしい遊びの環境」「地域や家庭との連携」「道徳性の芽生えを培う教育や人権教育」を上位3位挙げ、3項目ともほぼ同数の回答であった。保護者と教職員が期待することと、地域が期待することに相違が見られた。

地域は、人とのかかわりや心の教育を期待していることが考えられる。今後、地域の願いを反映していくための工夫が必要であると考えられる。

### 3.全体を通して

本調査を通して、園の開かれ度の中に、保護者と教職員の間で若干の相違が見られるものの、保護者・教職員・地域とも「園の満足度」「子どもの元気度」「園の開かれ度」に、高い評価を得ていることがわかった。今後さらに、園を開くことが求められると考える。

**学校評価における共通評価項目全県集計結果 (公立小学校) の概要**

1 調査対象と回収の概要 (単位:人)

	区 分	対象者	回収数	回収率
公立小学校	児童(4~6年)	22,247	21,814	98.1%
	保護者	36,374	29,496	81.1%
	教職員	3,958	3,738	94.4%
	地域住民	3,457	2,578	74.5%

2 結果の概要

(1) 学校への満足度

今回の調査対象別の比較

設問	児童	保護者	教職者
学校生活は楽しい」に対する肯定的な回答	84.5%	91.6%	91.0%
わかる授業」に対する肯定的な回答	86.1%	91.2%	95.8%
教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答		73.2%	63.7%

・学校生活は楽しい」は、児童、保護者、教職員ともに85~90%が肯定的評価をしている。

・わかる授業」に対しては、教職員と児童の間に10%近い開きがある。

前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
児 童	H13	あなたは授業や学校生活が楽しいと感じていますか	83.2%	16.7%
	H17	あなたは学校生活が楽しいですか	84.5%	15.0%
保護者	H13	あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか	90.8%	9.2%
	H17	お子さんは学校生活に満足していますか	91.6%	7.6%

・児童に対する前回の「あなたは授業や学校生活が楽しいと感じていますか」と今回の「あなたは学校生活が楽しいですか」を比較すると、肯定的評価は、同程度となっている。

・保護者に対する前回の「あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか」と、今回の「お子さんは学校生活に満足していますか」の比較においても、前回と同程度となっている。

総括

前回の調査との比較では、児童や保護者の学校への満足度は少し高くなっているが、「わかる授業」については、数値は高いものの、児童と教職員の間に10%近い開きがあり、一層の授業改善が求められる。

また、「教職員に気軽に相談」の質問においては、保護者の肯定的な回答が70%台、教職員が60%台にとどまっており、学校において気軽に相談できる雰囲気づくりや細かな配慮が必要である。

## (2)子どもの元気度

### 調査対象の比較

設 問	児童	保護者	教職員
自分の学級が楽しい」に対する肯定的な回答	85.1%	88.5%	89.8%
目標をもった学校生活」に対する肯定的な回答		58.0%	54.4%
子どもは教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答	52.9%	56.2%	70.0%

- ・自分の学級が楽しい」は、児童、保護者、教職員ともに肯定的評価が80%台となっている。
- ・目標をもった学校生活」は、保護者、教職員ともに肯定的評価が約半数にとどまっている。
- ・子どもは教職員に気軽に相談」の肯定的評価は、教職員が70%であるのに対して、児童や保護者は55%前後にとどまっている。

### 総括

- ・子どもは教職員に気軽に相談」の肯定的評価が、児童と教職員とでは約20%近い開きがあり、教職員は、もっと児童が相談しやすい環境をつくっていくことが必要である。
- ・目標をもった学校生活」については、学習意欲の向上、学校生活の充実の観点からも、児童がしっかり目標をもつことができるような取組が必要である。

## (3) 学校の開かれ度

### 今回の調査対象別の比較

設 問	児童	保護者	地 域	教職員
情報提供「課題をオープン」に対して肯定的な回答		85.3%	80.8%	89.2%
声を聞き、学校運営に反映」に対して肯定的な回答	77.5%	78.7%		86.6%

- ・情報提供「課題をオープン」の肯定的評価は、保護者、地域、教職員ともに近い割合となっている。
- ・声を聞き、学校運営に反映」では、保護者は、学校から情報提供や課題はオープンにされていると感じているが、保護者の声が学校運営に反映されていると感じる割合は低くなっている。

### 前回の調査との比較

対象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか	78.6%	21.3%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	85.3%	13.6%

保護者に対して、前回の「学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか」と、今回の「学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか」を比較すると、肯定的評価は、78.6%から85.3%と増加し、否定的評価は、21.3%から13.6%に減少している。

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、子どもたちの意見や希望を受け入れた取組ができていますか	75.4%	24.6%
		学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	72.2%	27.8%
	H17	学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	78.7%	18.6%

保護者に対して、「前回の 学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」と今回の 学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」を比較すると、肯定的評価は増加し、否定的評価は減少している。

#### 総括

学校からの情報発信を積極的に行うことや、保護者や地域住民の声を学校運営に反映している割合も80%前後と高く、前回の調査と比較しても学校は開かれてきている。

#### (4) 学校への期待

##### 調査対象別の比較

対 象	順 位	選 択 肢
児 童	1	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする
	2	いじめや暴力をなくす
	3	子どもが中心となって計画する学校行事をふやす
	4	わかりやすい授業をする
保護者	1	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする
	2	わかりやすい授業をする
	3	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	4	教員の資質・指導力を向上させる
地 域	1	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	2	教員の資質・指導力を向上させる
	3	わかりやすい授業をする
	4	道徳教育や人権教育に力を入れる
教職員	1	わかりやすい授業をする
	2	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	3	教員の資質・指導力を向上させる
	4	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする

学校へ期待することについては、児童、保護者、教職員ともに「あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする」が高い順位となっている。

- ・「わかりやすい授業をする」「社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる」は、保護者、地域、教職員ともに高い順位となっている。
- ・「教員の資質・指導力を向上させる」は、教職員の回答が保護者より高い順位となっ

いる。

### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	順位	選 択 肢
	H13	これから学校や先生に望むことは何ですか	1	体験的な学習を取り入れてほしい
			2	学校行事をふやしてほしい
			3	一人一人の力に合った授業をしてほしい
			4	もっとわかりやすい授業をしてほしい
	H17	これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか	1	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする
			2	いじめや暴力をなくす
			3	子どもが中心となって計画する学校行事をふやす
			4	わかりやすい授業をする

児童に対する、前回の「これから学校や先生に望むことは何ですか」と今回の「これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか」の比較から、共通して児童が期待しているものは、学習の充実と安心・安全な環境と言える。

#### 総括

今回の結果において、児童が「これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか」に対して「安全対策」や「いじめ暴力をなくす」という内容が上位であり、前回の「わかりやすい授業」への期待に加え、安心して落ち着いた学校生活を送ることへの期待が大きいと言える。

## 学校評価における共通評価項目全県集計結果 (公立中学校) の概要

### 1 調査対象と回収の概要

(単位:人)

	区分	対象数	回収数	回収率
公立中学校	生徒	17,816	16,711	93.8%
	保護者	16,374	12,007	73.3%
	教職員	2,389	2,187	91.5%
	地域住民	1,590	1,228	77.2%

### 2 結果の概要

#### (1) 学校への満足度

##### 今回の調査対象別の比較

設 問	生徒	保護者	教職員
学校生活は楽しい」に対する肯定的な回答	78.8%	82.7%	79.0%
わかる授業」に対する肯定的な回答	68.9%	72.4%	94.0%
教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答	/	52.1%	53.0%

- ・学校生活は楽しい」は、生徒、保護者、教職員ともに、80%前後が肯定的評価をしている。
- ・わかる授業」は、教職員、保護者、生徒の順で肯定的評価が低くなっており、教職員と生徒間では、大きな開きがみられる。
- ・教職員に気軽に相談」は、肯定的評価が保護者、教職員とも50%程度にとどまっている。

##### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
生 徒	H13	あなたは授業や学校生活が楽しいと感じていますか	68.7%	31.4%
	H17	あなたは学校生活が楽しいですか	78.8%	20.6%
保護者	H13	あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか	83.4%	16.6%
	H17	お子さんは、学校生活に満足していますか	82.7%	16.6%

生徒に対する、前回の「あなたは授業や学校生活が楽しいと感じていますか」と今回の「あなたは学校生活が楽しいですか」を比較すると、肯定的評価は68.7%から78.8%に増加し、否定的評価は、31.4%から20.6%に減少している。

保護者に対する、前回の「あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか」と今回の「お子さんは、学校生活に満足していますか」を比較すると肯定的評価は83.4%から82.7%に減少している。

##### 総括

前回の調査と比較して、生徒の学校への満足度が約10%アップしていることは、教育改革の総合的な成果としてとらえることができる。しかし、「わかる授業」に対する肯定的評価は、教職員と生徒の間で約30%近い開きがあり、更に授業改善を進め、生徒の肯定的評価を高めていく取組が必要である。また、生徒や保護者が教職員に気軽に相談できる信頼関係づくりや相談しやすい環境をつくっていくことが課題である。

## (2) 子どもの元気度

### 今回の調査対象別の比較

設 問	児童	保護者	教職員
自分の学級が楽しい」に対する肯定的な回答	75.7%	75.9%	76.9%
目標をもった学校生活」に対する肯定的な回答	61.0%	58.2%	49.1%
子どもは教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答	34.5%	42.3%	52.6%

- ・「自分の学級が楽しい」は、生徒、保護者、教職員ともに75%前後の肯定的評価となっている。
- ・「目標をもった学校生活」は、生徒、保護者、教職員の順に肯定的評価が低くなっている。
- ・「子どもは教職員に気軽に相談」は、教職員の肯定的評価が約50%であるのに対して、生徒は約35%、保護者は約40%にとどまっている。

### 総括

生徒の6割以上が目標をもって学校生活を送っていることは、一定の評価ができるが、生徒が教職員に気軽に相談できる割合は低く、生徒と教職員の信頼関係の構築が今後の大きな課題である。

## (3) 学校の開かれ度

### 今回の調査対象者別の比較

設 問	生徒	保護者	地域	教職員
情報提供 課題をオープン」に対して肯定的な回答	/	69.4%	71.0%	83.6%
声を聞き、学校運営に反映」に対して肯定的な回答	60.0%	61.3%	/	77.5%

- ・「情報提供 課題をオープン」については、教職員、地域、保護者の順で肯定的評価が低くなっている。
- ・「声を聞き、学校運営に反映」については、生徒 保護者と教職員の肯定的評価には、15%以上の開きがある。

### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか	73.6%	26.4%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	69.4%	25.5%

保護者に対する、前回の「学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか」と今回の「学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか」を比較すると、肯定的評価も否定的評価も大きな変化は見られない。

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、子どもたちの意見や希望を受け入れた取り組みができていますか	65.6%	34.3%
		学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	62.8%	37.2%
	H17	学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	61.3%	30.0%

・保護者に対する、前回の「学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」と、今回の「学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」を比較すると、肯定的評価、否定的評価ともに大きな変化は見られない。

#### 総括

情報提供や保護者の声を学校経営に反映することについては、保護者と教職員の間には、まだまだとらえ方に大きな開きがあり、両者の意識の違いを埋めていくことが課題である。

#### (4)学校への期待

##### 調査対象別の比較

対 象	順 位	選 択 肢
生 徒	1	わかりやすい授業をする
	2	学校行事や部活を充実させる
	3	いじめや暴力をなくす
	4	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする
保護者	1	わかりやすい授業をする
	2	教員の資質・指導力を向上させる
	3	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	4	将来の進路について考える時間を設ける
地 域	1	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	2	教員の資質・指導力を向上させる
	3	わかりやすい授業をする
	4	道徳教育や人権教育に力を入れる
教職員	1	わかりやすい授業をする
	2	社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
	3	教員の資質・指導力を向上させる
	4	道徳教育や人権教育に力を入れる

・これから学校が力を入れなくてはならないことについては、児童、保護者、教職員ともに「わかりやすい授業をする」が1位となっている。

・「社会のルールやきまりの指導」が保護者、教職員、地域で高い順位となっている。

### 前回の調査との比較

対象	年度	設問	順位	選択肢
	H13	これから学校や先生に望むことは何ですか	1	体験的な学習を取り入れてほしい
			2	もっとわかりやすい授業をしてほしい
			3	学校行事を増やしてほしい
			4	自分の理解度にあった授業をしてほしい
	H17	これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか	1	わかりやすい授業をする
			2	学校行事や部活動を充実させる
			3	いじめや暴力をなくす
			4	あやしい人が入ってきたときや地震のときの安全対策をしっかりする

生徒に対する、前回の「これからの学校や先生に望むことは何ですか」と今回の「これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか」とを比較すると、いずれも「わかりやすい授業」や「体験的な学習」「学校行事や部活動」など、学校生活の充実に関することが上位となっている。

今回の調査では、「いじめや暴力をなくす」、「危機管理対策」への期待とともに、より一層わかりやすい授業が求められている。

#### 総括

前回の調査と比較して、学校への期待項目の大きな変化は見られない。また、新たに、最近の生徒をとりまく環境の悪化などから、「危機管理対策」や「いじめや暴力をなくす」に期待が表れており、生徒が安心して落ち着いた環境で過ごすことができるようにしていくことが求められる。

### 3 全体を通して

生徒の学校生活に対する満足度は増しており、教育改革の成果が見える。しかし、全体的な傾向として、教職員自身の肯定的評価が高いのに比べ、生徒、保護者の学校に対する評価はいずれも低い割合であり、両者に関きが見られる。その顕著な例が「わかる授業」と「子どもは教職員に気軽に相談」の結果であり、学校運営における大きな課題といえる。

これまで実施してきた「授業評価システム」で生徒の声を聞くことや、「開かれた学校づくり推進委員会」で保護者や地域の声を聞くことを通して、生徒や保護者の声を学校づくりに反映させていく学校のシステムが機能しているかどうか再点検をする必要がある。授業改善や生徒一人一人を理解する取組を進めるとともに学校からの情報発信を行い、互いの意識の溝を埋め、学校への理解と協力につなげていくことが必要である。

## 学校評価における共通評価項目全県集計結果 (公立高等学校) の概要

### 1. 調査対象と回収の概要

(単位:人)

	区分	対象数	回収数	回収率
公立高等学校	生徒	16,576	15,464	93.3%
	保護者	15,773	10,366	65.7%
	教職員	2,130	1,865	87.6%
	地域住民	1,833	1,217	66.4%

### 2. 結果の概要

#### (1) 学校への満足度

##### 今回の調査対象別の比較

設 問	生徒	保護者	教職員
学校生活は楽しい」に対する肯定的な回答	71.3%	80.0%	72.7%
わかる授業」に対する肯定的な回答	59.9%	72.0%	95.8%

今回の調査の「学校生活は楽しい」に対して、肯定的に回答したのは、3者とも同程度の結果となっている。しかし、「そう思う」だけを比較してみると、生徒(30.1%)・保護者(37.1%)に対して、教職員(10.2%)は低くなっている。

今回の調査の「わかる授業」に対して、肯定的に回答したのは、教職員(95.8%)に対して、生徒(59.9%)・保護者(72.0%)は低くなっている。

##### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
生 徒	H13	あなたは、現在の学校生活に満足していますか	47.6%	52.4%
	H17	あなたは学校生活が楽しいですか	71.3%	28.0%
保 護 者	H13	あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか	80.7%	19.3%
	H17	お子さんは本校での学校生活に満足していますか	80.0%	15.3%

生徒に対して、前回の「あなたは、現在の学校生活に満足していますか」と今回の「あなたは学校生活が楽しいですか」を比較してみると、肯定的評価は、47.6から71.3%に増加し、否定的評価は、52.4から28.0%に低下している。

保護者に対しては、前回の「あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか」と今回の「お子さんは本校での学校生活に満足していますか」を比較してみると、肯定的評価は、80.7から80.0%とほとんど変化なく、否定的評価は、19.3から15.3%に低下している。

##### 総括

前回の調査と比較して、生徒の学校への満足度は大幅に向上している。一方、今回の調査において、生徒・保護者と教職員との間の調査結果にギャップがある。これは、教職員が授業改善に取り組んでいる成果がまだ現れていないか、その取組が十分に伝わっていないことも原因と考えられる。

## (2) 生徒と教職員の人間関係 (子どもの元気度)

### 今回の調査対象別の比較

設問に対する回答	生徒	保護者	地域	教職員
「目標ある学校生活」に対して、肯定的回答	60.1%	69.1%	60.2%	43.8%
「気軽に先生に相談」に対して、肯定的回答	30.0%	40.0%		48.9%
「学級が楽しい」に対して、肯定的回答	72.5%	78.8%		74.7%

・「目標ある学校生活」に対して、肯定的に回答したのが、生徒 (60.1%)・保護者 (69.1%)・地域 (60.2%) に対して、教職員 (43.8%) は低くなっている。

・「気軽に先生に相談」に対して、肯定的に回答したのが、生徒 (30.0%)・保護者 (40.0%) に対して、教職員 (48.9%) は高くなっている。さらに、否定的回答の「思わない」だけを比較してみると、生徒 (37.5%)・保護者 (18.5%) に対して、教職員 (4.6%) は低くなっている。

・「学級が楽しい」に対して、肯定的に回答したのは、3者とも同程度の結果となっている。しかし、「そう思う」だけを比較してみると、生徒 (35.2%)・保護者 (32.5%) に対して、教職員 (13.2%) は低くなっている。

### 前回の調査との比較

対象	年度	設問	肯定的	否定的
生徒	H13	先生は、あなたたちの思いや悩みを聞いてくれますか	61.8%	38.2%
	H17	あなたは、悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか	30.0%	68.5%

生徒に対して、前回の「先生は、あなたたちの思いや悩みを聞いてくれますか」と今回の「あなたは、悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか」を比較してみると、肯定的評価は、61.8から30.0%に減少し、否定的評価は、38.2から68.5%に増加している。

### 総括

質問の内容から考えると前回の調査と単純に比較することはできない。したがって、生徒と教職員の関係に問題があるかどうかは明確ではないが、教師側がより受容的な態度をもつようになれば生徒からの相談は増えていくと思われる。また(1)と同様に、今回の調査において生徒・保護者と教職員の調査結果にギャップがみられる。

## (3) 学校の開かれ度

### 今回の調査対象者別の比較

設問	生徒	保護者	地域	教職員
「情報提供 課題をオープン」に対して、肯定的な回答		65.9%	46.9%	76.4%
「声を聞き、学校運営に反映」に対して、肯定的な回答	50.0%	61.4%		69.8%

・「情報提供 課題をオープン」に対して、肯定的に回答したのが、保護者 (65.9%)・地域 (46.9%) に対して、教職員 (76.4%) は少し高くなっている。

・「声を聞き、学校運営に反映」に対して、肯定的に回答したのが、生徒 (50.0%)・保護者 (61.4%) に対して、教職員 (69.8%) は少し高くなっている。

### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	54.7%	45.3%
	H17	学校は子どもたちや保護者の・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	61.4%	33.6%

保護者に対しては、前回の「学校は、保護者や住民の声を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」と学校は、子どもたちの意見や希望を取り入れた取組ができていると思いますか」を合わせたものと、今回の「学校は子どもたちや保護者の・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか」を比較してみると、肯定的評価は、54.7から61.4%に増加し、否定的評価は、45.3から33.6%に低下している。

#### 総括

前回の調査と比較して、開かれた学校づくりが進んでいることがわかる。今回の調査において、調査対象間の違いはそれほど大きくない。

### (4) 学校への期待

#### 今回の調査対象別の比較

保護者の希望が多いのは、「進学・就職」、「分かる授業」についてである。

教職員と地域の希望が多いのは、「社会のルールやきまり」、「進学・就職」についてである。

生徒の希望が多いのは、「部活動・学校行事」についてである。

#### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	順位	選 択 肢
生徒	H13	今後、高校教育に望むことは何ですか	1	わかりやすい授業をしてほしい
			2	学校行事を増やしてほしい
			3	実習や体験的な学習を取り入れてほしい
	H17	これから特に学校教育に力を入れてほしいことは何ですか	1	わかりやすい授業をする
			2	学校行事や部活動を充実させる
			3	進学、就職希望に応える教育をする

生徒に対して、前回の「今後、高校教育に望むことは何ですか」と今回の「これから特に学校教育に力を入れてほしいことは何ですか」とを比較してみると、いずれの調査でも「授業」、「学校行事」、「進路指導」に対するものが上位を占めている。

#### 総括

前回の調査と比較して、学校への期待項目について大きな変化はみられない。他の調査結果の多くは改善していることから考えても、現状よりも少しでも改善していくことを望んでいるととらえるべきであろう。

### 3.全体を通して

前回の調査と比較して、生徒・保護者などの県立高校に対する評価は向上している。これも、学校評価・授業評価などを通して生徒・保護者などの意識を、学校運営や授業に反映させようとしている成果であると考えられる。一方、今回の調査では、生徒・保護者と教職員の回答にやや違いがある。このギャップを解消していくには、生徒・保護者との対話機会を増やして、信頼関係をより強固なものにしていく必要がある。

## 学校評価における共通評価項目全県集計結果(公立盲・聾・養護学校)の概要

### 1 調査対象と回収の概要

(単位:人)

	区 分	対象者	回収数	回収率
公立盲・聾・ 養護学校	児童生徒	195	185	94.9%
	保護者	631	412	65.3%
	教職員	653	514	78.7%
	地域住民	131	97	74.0%

### 2 結果の概要

#### (1) 学校への満足度

##### 今回の調査対象別の比較

設 問	児童生徒	保護者	教 員
学校生活は楽しい(満足)に対する肯定的な回答	83.2%	87.9%	88.1%
分かる授業」「一人一人に応じた指導」に対する肯定的な回答	88.1%	89.6%	93.5%
保護者は 教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答	/	81.3%	72.0%
保護者は 教職員に気軽に相談」に対する否定的な回答		4.6%	1.8%

今回の調査で、「学校生活は楽しい(満足している)か」に対して児童生徒の83.2%、保護者の87.9%、また「授業がよく分かるか」に対して児童生徒の88.1%、「一人一人に応じた指導につとめているか」に対しては保護者の89.6%が肯定的評価をしている。また、保護者の81.3%が「教職員に気軽に相談できているか」に対し肯定的評価をしており、どの項目においても学校への満足度は高い。

今回の調査で、地域の「学校の教育活動は満足できる状態か」に対する肯定的評価は78.4%、「教職員は意欲を持って教育活動に当たっていると思うか」に対する肯定的評価は88.6%である。

##### 前回の調査との比較

対 象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	あなたは、子どもの通っている学校に満足していますか	78.2%	21.8%
	H17	お子さんは本校での学校生活に満足していますか	87.9%	8.0%

保護者の学校の満足度について、前回調査と比較すると、肯定的評価は78.2%から87.9%に増加し、否定的評価は21.8%から8.0%に低下している。

#### 総括

前回の調査と比較して、保護者の学校への満足度は向上している。また、今回の調査でも児童生徒、保護者の満足度は高く、学校の「分かる授業」や「一人一人に応じた指導」等の授業改善の取組みへの信頼が得られてきたことが伺える。地域からも、学校の教育活動や教職員の教育活動に対する満足度は高く、学校外からの信頼を得ることができていると考えられる。

## (2) 子どもの元気度

### 調査対象の比較

設 問	児童生徒	保護者	教員
「自分の学級が楽しい」に対する肯定的な回答	86.6%	84.7%	86.8%
「目標をもった学校生活」に対する肯定的な回答	75.7%	60.7%	60.5%
「子どもは教職員に気軽に相談」に対する肯定的な回答	57.3%	47.1%	63.4%
「子どもは教職員に気軽に相談」に対して「思わない」と回答	13.5%	18.4%	4.3%

「子どもは教職員に気軽に相談しているか」に対して、「思わない」と回答した児童生徒が13.5%、保護者が18.4%に対し、教員は4.3%と、調査結果に14ポイント程度の差がある。地域の「子どもたちは伸び伸びとした学校生活を送っていると思うか」に対する肯定的回答は、83.5%である。

### 総括

「自分の学級を楽しんでいるか」に対する児童生徒、保護者の肯定的評価や、地域からの「子どもが伸び伸びとした学校生活を送っていると思うか」に対する肯定的評価は高く、学級運営や授業改善の取組みの成果が伺える。

「目標を持った学校生活を送っているか」「子どもは気軽に教職員に相談しているか」の保護者の肯定的評価が、学校の満足度に比べて低くなっている。これは公立盲聾養護学校には障害が重度の児童生徒も多数在籍しており、児童生徒の障害の状態の改善がゆるやかに変化していくことや、意思表示が困難である場合も多いことなども要因と考えられる。

また、調査対象とした児童生徒の中に少数ではあっても「気軽に教職員に相談できない」と感じている者がいることについては、教員の児童生徒との信頼関係を構築する取組みを一層進める必要がある。

## (3) 学校の開かれ度

### 今回の調査対象別の比較

設 問	児童生徒	保護者	教職員
「意見や希望を聞く」「声を聞き、学校運営に反映」に対して肯定的回答	80.0%	76.7%	72.5%
「家庭への情報提供」に対して肯定的回答		88.4%	87.4%

地域の「学校は学校や子どもたちの課題をオープンにし、保護者や地域住民と協力して解決できていると思うか」に対して、肯定的評価が67.0%、否定的評価が16.5%である。

### 前回の調査との比較

対象	年 度	設 問	肯定的	否定的
保護者	H13	学校は保護者の意見(子どもたちの意見や希望)を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。	59.1%	40.9%
	H17	学校は子どもたちや保護者、地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。	76.7%	14.4%
	H13	学校は、行事案内だけでなく学校の教育方針など、様々な学校の情報を保護者に知らせていると思いますか。	60.0%	40.0%
	H17	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか。	88.4%	6.8%

前回の「学校は保護者の意見(子どもたちの意見や希望)を聞き、その声を学校運営に反映していると思うか」の肯定的評価が59.1%であったが、今回の「学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思うか」の肯定的評価は76.7%に増加しており、否定的評価は40.9%から14.4%に低下している。

学校の情報提供については、88.4%が積極的に実施していると肯定的評価をしており、否定的評価は6.8%である。

#### 総括

前回の調査と比較して、学校が児童生徒や保護者や地域の意見を取り入れる、積極的に情報提供を行うなど、開かれた学校づくりが進んでいることが分かる。学校により、調査対象(保護者と教職員)の意識に若干の差があるので、さらに情報提供や意見聴取の機会を設けるなどの工夫改善が求められる。

^

### (5) 学校への期待

#### 調査対象別の比較

対象	順位	選択肢
児童 生徒	1	分かりやすく楽しい授業
	2	子どもたちが中心となって計画できる学校行事
	3	不審者対策、防災対策などの安全対策
保護者	1	一人一人の障害の状態に応じた授業
	2	進学就職など卒業後の進路希望に応える教育
	3	教員の資質・指導力の向上
地域	1	一人一人の障害の状態に応じた授業
	2	進学就職など卒業後の進路希望に応える教育
	3	地域の障害のある子どもたちへの支援
教職員	1	一人一人の障害の状態に応じた授業
	2	進学就職など卒業後の進路希望に応える教育
	3	教員の資質・指導力の向上

前回の調査では、障害のある児童生徒の教育に関する保護者の意見や課題は、教員の資質や専門性の向上、教育内容の充実、卒業後の進路保障、保護者との連携、交流の促進等があげられていた。

#### 総括

今回の調査の「これから特に学校が力を入れてほしいこと(入れなければならないこと)」に対して、保護者、教職員は「一人一人の障害の状態に応じた授業」「進学就職など卒業後の進路希望に応える教育」「教員の資質・指導力の向上」を上位3つにあげており、学校に期待する項目には大きな変化はみられない。

地域が期待する項目として、「地域の障害のある子どもたちへの支援」があげられている。これは各学校が、「特別支援教育のセンター的機能」の充実に向けた取組みを進めてきたことが、地域に浸透し、地域の小・中学校等に在籍する障害のある幼児児童生徒への支援が求められていると考えられる。

### 3.全体を通して

今回の調査では、児童生徒や保護者の学校への満足度や、子どもの元気度などは高い評価を得ている。また、前回の調査における保護者の回答と比較しても、学校への信頼は向上してきている。これは、開かれた学校づくりや学校評価、授業改善などの取組みが反映されていると考えられる。

また、保護者の学校に期待する事項は、教職員がこれから学校が力を入れなければならないと考えている事項と一致しており、授業改善や進路希望に応える取組み等について、今後さらに工夫改善を加えて進めていく必要がある